

# 学校再編について

富山市PTA連絡協議会  
教育環境研究委員会  
2021年10月30日

# 富山市立小・中学校の適正規模・適正配置に関する基本方針

## ◆望ましい学校規模(学級数)

小学校: 12~18学級(各学年2~3学級)  
中学校: 9~18学級(各学年3~6学級)

## ◆望ましい学校規模(学級人数)

1学級あたり少なくとも21人以上

## ◆望ましい通学距離と通学時間

望ましい通学距離: 徒歩で2~3km以内、自転車で6km以内  
望ましい通学時間: 徒歩・自転車で30~40分以内  
スクールバス・公共交通機関を利用した場合。自宅から学校までおおむね1時間以内

## ◆早期に適正化を検討する学校規模

複式学校が存在する学校  
全学年が単学校である学校

# 基本方針の主な内容

環境変化に対する配慮	<ul style="list-style-type: none"><li>子どもたちを取り巻く環境の変化を考慮し、子どもたちの心身の負担を軽減するための十分なケアを行う。</li><li>山間部や過疎地においては、通学距離や通学時間が子どもたちの心身に対し過度な負担とならぬよう、発達段階に応じた配慮を行う。</li><li>保護者や地域住民の環境変化について配慮する。</li><li>支援が必要な子どもの教育環境に変化がある場合は、その実状に応じた支援を検討する。</li></ul>
通学の安全確保	<ul style="list-style-type: none"><li>通学の安全確保に十分配慮する。</li><li>遠距離となる場合には、スクールバス等適切な通学手段を検討する。</li></ul>
保護者や地域の理解と協力	<p>学校は、地域におけるスポーツ活動や行事、災害拠点といった様々な役割を担っており、また、子どもたちの安心・安全な通学の確保においても地域の協力は重要</p> <p>学校規模の適正化の適否の判断も含め、地域特性に配慮する。</p> <p>保護者や地域と十分な協議を行い、理解を得ながら協力・連携に努める。</p>
既存施設の活用	<ul style="list-style-type: none"><li>これまで耐震化や老朽化対策としての大規模改修等を実施してきたことから、将来世代の財政負担を軽減するため、既存の学校を有効活用することも検討する。</li></ul>
多様な教育方法の検討	<ul style="list-style-type: none"><li>子どもたちが未来の社会を歩むために必要な教育環境をつくるため、従前の小・中学校だけでなく4年間の教育課程を元押すことができる小中一貫校や義務教育学校の設置についても検討する。</li><li>未来の社会を担う人材を育てるため、既存の概念にとらわれることなく新たな教育方法の調査研究を行う。</li></ul>

# 学校再編に関するアンケート調査

対 象:富山市内の小中学生の保護者

期 間:令和3年9月3日～15日

調査方法:Googleフォームによるオンライン投票

回 答 者:1,485名

『富山市立小・中学校の適正規模・適正配置に関する基本方針』の策定について

- 策定されたことを知っているか？
- 望ましい学校規模(学級数)について適切だと思いますか？
- 望ましい学校規模(学級人数＝生徒数)について適切だと思いますか？
- 望ましい通学距離と通学時間について適切だと思いますか？
- 早期に適正化を検討する学校規模について適切だと思いますか？
- 「環境変化に対する配慮」について、どのようなことが必要であると考えますか？
- 「通学の安全確保」について、どのようなことが必要であると考えますか？
- 「保護者や地域の理解と協力」を得るうえで、どのようなことが必要であると考えますか？
- 「既存施設の活用」について、有効な活用方法を考えられることは？
- 「多様な教育方法の検討」について、ご意見・要望がございますか？

## 回答者内訳

学年	人数
小学1年	343人
小学2年	295人
小学3年	271人
小学4年	262人
小学5年	282人
小学6年	256人
中学1年	134人
中学2年	97人
中学3年	81人

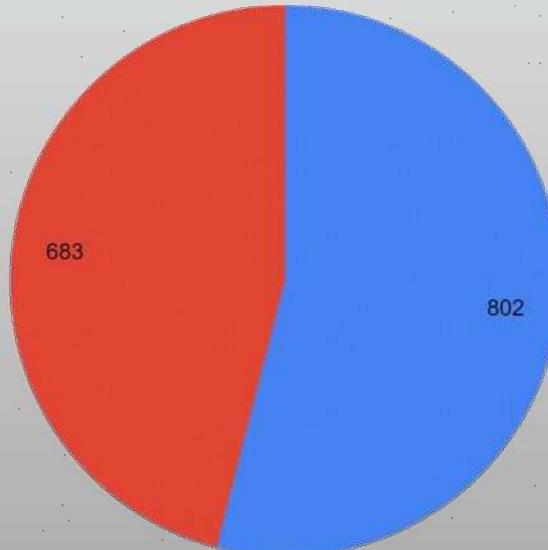


## 富山市立小・中学校の適正規模・適正配置に関する基本方針

策定されたことを知っているか？

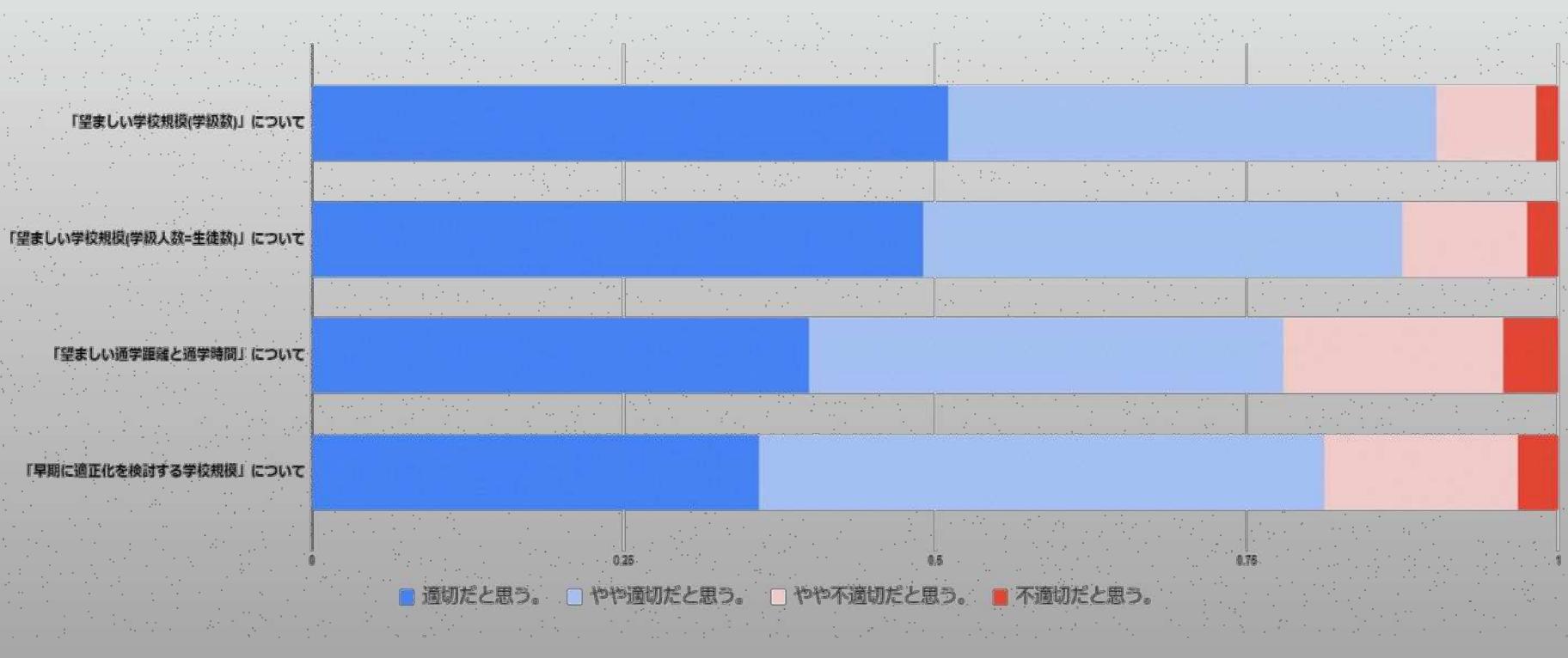
策定されたことは知っている

策定されたことは知らない



# 富山市立小・中学校の適正規模・適正配置に関する基本方針

基本方針は適切だと思いますか？



# 富山市立小・中学校の適正規模・適正配置に関する基本方針

『環境変化に対する配慮』について、どのようなことが必要であると考えますか？

策定で提示された以外の意見

- 具体的な配慮内容の定性定量の両目標設定とロードマップ化
- 環境変化が起きる時は、隨時、子供たちにアンケートをとって心の不安を探り、適切な対策を行う。
- 地域から学校が無くなると、新しい人が増えず、さらに過疎化が進む。
- 学校や地域での討論なしに、新聞・ニュース等で先に知らされた。不愉快で不信感しかない。

# 富山市立小・中学校の適正規模・適正配置に関する基本方針

『通学の安全確保』について、どのようなことが必要であると考えますか？

策定で提示された以外の意見

- 徒歩と自転車のスクールゾーンを分ける等安全面を考慮する。
- 親の送迎可能な学校周辺の整備。
- 通学路に防犯カメラの設置や無線LAN等での通過確認。
- 毎日の持ち帰りでランドセルの総重量が約5～6kgと重く、リュックサック等の軽量化や宿題で使わない教科書や教材の「置き勉」の促進  
※2018年文部科学省は健やかな発達に影響が生じかねない懸念があると指摘し、必要に応じて適切な配慮を講じるよう全国の教育委員会に通知した

# 富山市立小・中学校の適正規模・適正配置に関する基本方針

『保護者や地域の理解と協力』を得るうえで、どのようなことが必要であると考えますか？

策定で提示された以外の意見

- 統廃合については、多くの場合現役世代より数年後の世代からの負担になるため、地域よりも、6歳未満の子がいる家庭への聴取を希望する。
- このアンケートのように、ネットで情報の収集や要望を伝えたい。未就学児のいる家庭では、ワークショップや説明会等の参加が難しい。
- 保護者や地域の善意の協力だけでは負担が多く、報酬を渡して依頼できることは依頼すべき。
- 地域の自治体は高齢者の声が多く、ノスタルジーや行政批判を重視し子供たちの教育環境について真摯に考えているか疑問もある。また決定に時間がかかる。

# 富山市立小・中学校の適正規模・適正配置に関する基本方針

『既存施設の活用』について、有効な活用方法と考えられることは何ですか？

## 詳細な意見

- 人数に対して狭すぎる学校は県立高校と場所を共有する等、部活場所の確保をしてあげてほしい。
- 災害避難場所
- 地域住民の拠点となるような施設運用。
- 不登校児童の様々な理由や原因に合わせた自由度の高い支援施設。

# 富山市立小・中学校の適正規模・適正配置に関する基本方針

『多様な教育方法の検討』について、ご意見・要望はございますか？

## 意見・要望

- 小学校選択制。
- 教科担任制。
- 地域がら余儀なく小規模校になった場合のIoTを活用した運営方法の検討。
- 不登校児への支援・インクルーシブ教育等、教育の質を下げず全ての子供に良い教育環境を与えてほしい。
- 飛び級や、学校以外の義務教育スキームなどの改革

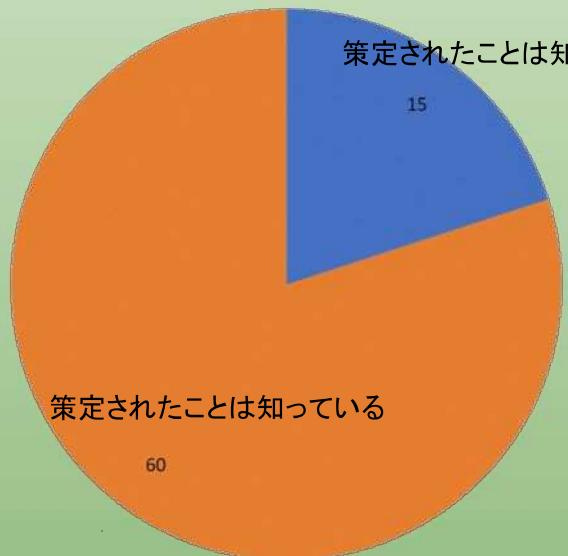
## 再編対象校と大規模校との比較

対象校名	
再編対象校	大規模校
<小学校>	<小学校>
柳町, 浜黒崎, 岩瀬, 針原, 四方, 八幡, 草島, 倉垣, 長岡, 寒江, 古沢, 老田, 池多, 新明, 太田, 船崎, 上滝, 福沢, 小見, 樅尾, 朝日, 古里, 音川, 山田, 神通碧	芝園, 新庄, 藤ノ木, 豊田, 堀川, 堀川南, 蟻川, 速星, 鵜坂
<中学校>	<中学校>
山田, 榆原	堀川, 速星

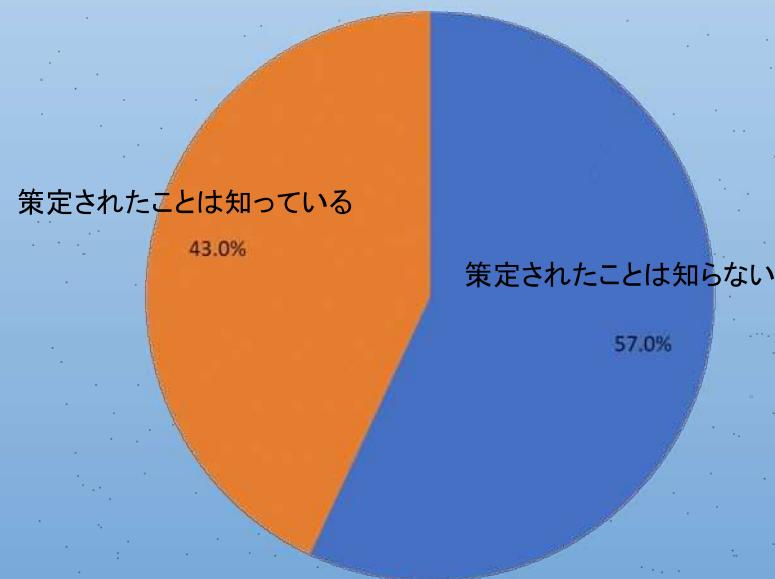
## 富山市立小・中学校の適正規模・適正配置に関する基本方針

策定されたことを知っているか？

再編対象校



大規模校



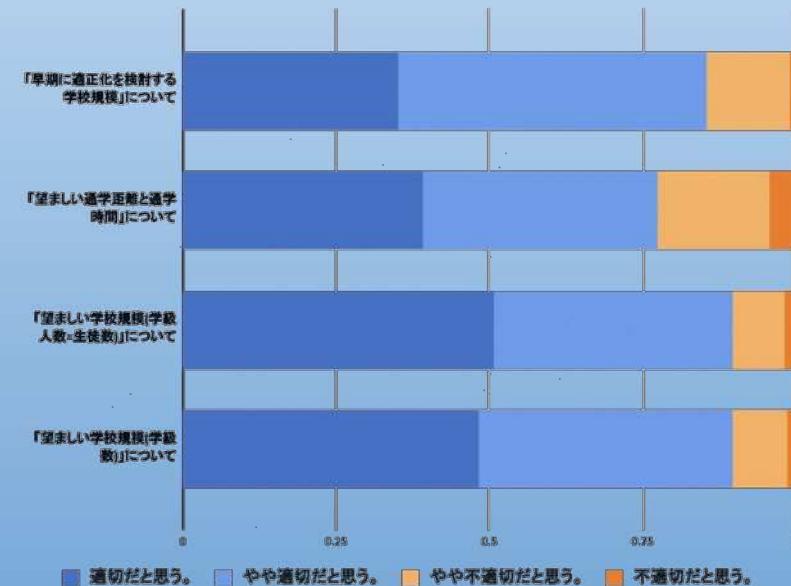
# 富山市立小・中学校の適正規模・適正配置に関する基本方針

基本方針は適切だと思いますか？

再編対象校



大規模校



# 富山市立小・中学校の適正規模・適正配置に関する基本方針

「望ましい学校規模(学級数)」について適切だと思いますか？

## 再編対象校

その他意見

- 学校再編は大規模校より小規模校の方が、関心が高い。
- 小規模の学校ではできる活動や部活動の限界がある。
- クラス替えができたほうが良い。
- 児童減少が見込まれるので、統合はやむを得ない。
- 学校の存続がその地域の存続に影響を及ぼす。過疎地域では学校の存続が望ましい。

## 大規模校

その他意見

- 学級数は適正である。
- 学級数が多いと行動に制限がでる(目に見えないルール 例;この時間は○年生が使用する⇒他の学年は使用してはいけない)。
- あまり多すぎると学習格差が生まれる。
- できるだけ小規模である方がいい。

# 富山市立小・中学校の適正規模・適正配置に関する基本方針

「望ましい学校規模(生徒数)」について適切だと思いますか？

## 再編対象校

その他意見・要望

- 先生が見守れる生徒数だと思う。
- 望ましい生徒数は授業の内容により変容するもので、人数にこだわって再編するのは正しい在り方ではない。
- 21人以上と人数が多いと先生の目が行き届かないのではないか。
- 上限を定めて欲しい。

## 大規模校

その他意見・要望

- 上限を定めて欲しい。(最も多い意見は30人以下)
- 少人数で手厚く見てほしい
- 現状では人数が多すぎると感じる。
- 小規模であっても地域に必要な学校は極力残してほしい。
- 授業の量・質に対して先生への負担が大きすぎる。副担任を配置すべき。

# 富山市立小・中学校の適正規模・適正配置に関する基本方針

「望ましい通学距離と通学時間」について適切だと思いますか？

## 再編対象校

その他意見・要望

- 1時間は子供に負担がかかりすぎる。
- 歩くことが望ましい。
- 通学時間の短い子と1時間かかるこの家庭  
学習の時間に差がありすぎる。
- 天候によりスクールバスの範囲を拡大して  
ほしい

## 大規模校

その他意見・要望

- 通学時間は学年によって詳細に定めて欲しい。
- 1時間は長すぎる。
- 事故のリスクや勉強等の時間を有効に生かすために義務教育中はなるべく短い通学距離・時間が良い。
- 学区について考慮してほしい

# 富山市立小・中学校の適正規模・適正配置に関する基本方針

「早期に適正化を検討する学校規模」について適切だと思いますか？

## 再編対象校

その他意見・要望

- 維持費が高いから仕方がない。
- 閉校になるのは地域によって過疎化が進む要因になるので慎重に考えてほしい。
- 小規模校より大規模校の人数を分散してほしい。いろいろな経験も小規模校に比べると少ない。
- 富山市は共働きが多く、学童などの放課後に子供達がすごせる場所は必要である。

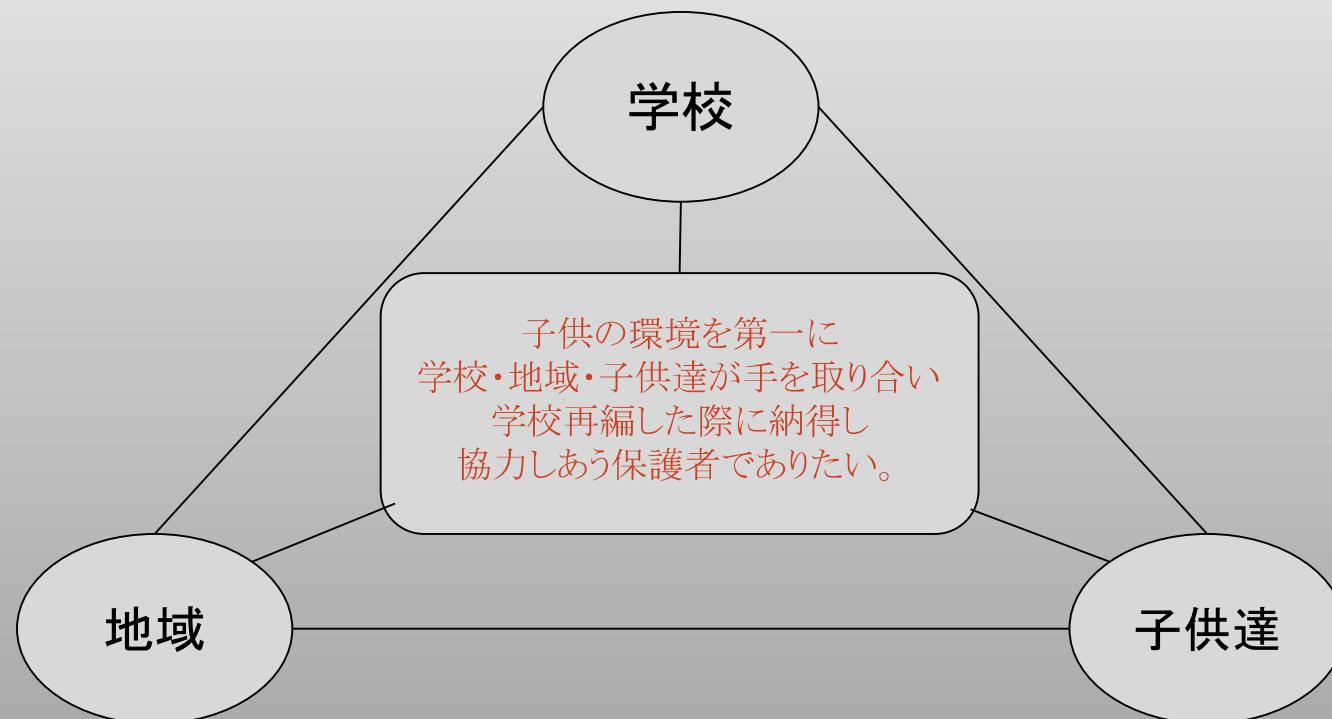
## 大規模校

その他意見・要望

- 大規模校への編成も進めてほしい。
- 段階を踏んで統合を進めてほしい。
- 合併した場合、学童を利用しやすくしてほしい。
- 校区の見直しや特認校がある事の周知など、まだ出来ることはある。

## 学校再編について

保護者が求めているもの



## 学校再編について

学校へ求めているもの

学校

近くに学級数の少ない学校があるにも関わらず、学級数の多い学校へ行かなければならぬ現状。

現状の校区に対し、不満に思われる方が多い。

生徒数が少ない方が、先生の目が行き届きやすい。

魅力ある学校へ通学させたい。たとえ遠距離でも納得して通学させられる。

地域

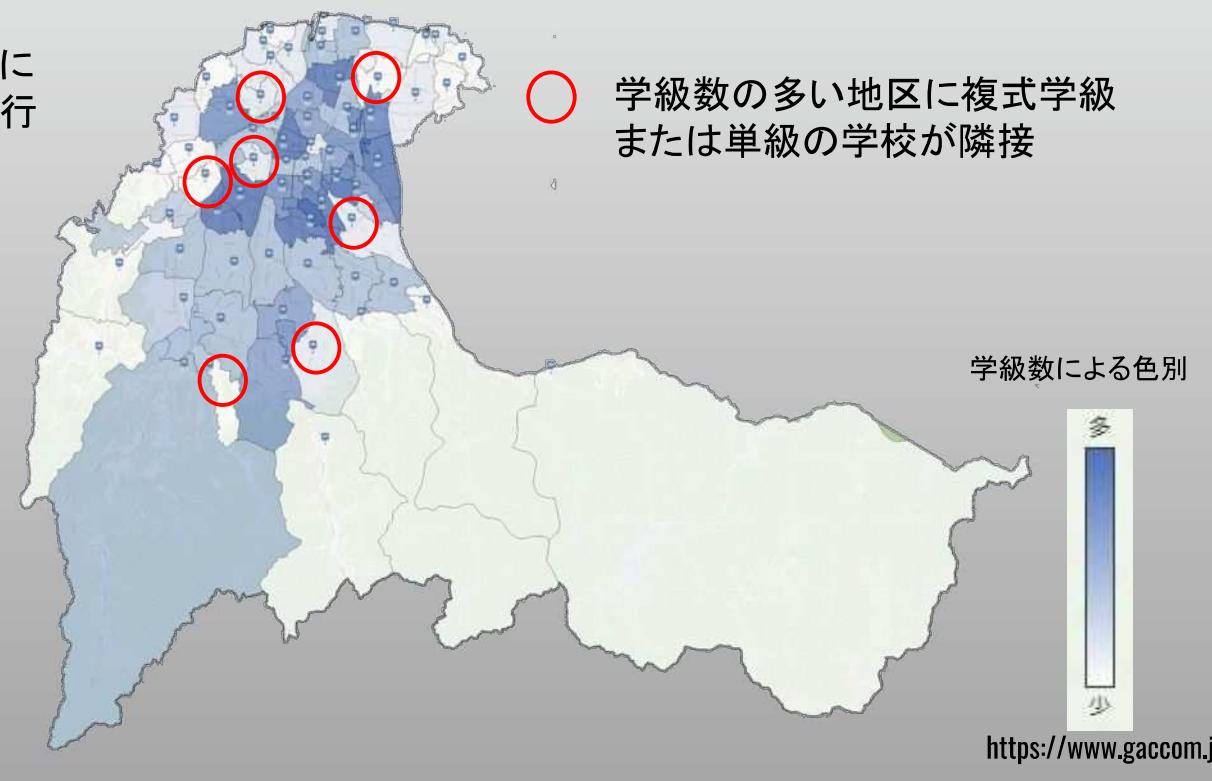
子供達

小学校選択制の導入

## 学校再編について

資料 富山市の学級数分布図

近くに学級数の少ない学校があるにも関わらず、学級数の多い学校へ行かなければならぬ現状



# 学校再編について

## 地域が求めているもの

地域への説明なしに新聞やテレビ等の情報が先行しており、非常に不愉快で不安が募る。

地域へのワークショップ等行っているようだが、本当の対象である未就学児のいる保護者が参加するのは困難である。このようなネットでのアンケートも行ってほしい。

対象地区及び対象地区外への地域団体への説明や意見交換・アンケートを行ってほしい。

スクールバスの範囲拡大・公共交通利用の促進・安全性通学時間の短縮を図る

学校再編に伴い、放課後学級の利用時間拡大・利用対象者の拡大は必須である



子供の安全第一に

学校再編に関する情報先行の進め方の見直し

地域及び保護者への積極的なアンケート

スクールバスの導入

放課後の子供達の居場所

地域

子供達

# 学校再編について

子供達へ求めているもの

近年の目まぐるしい環境変化に対する子供の不安を探り、子供への適切な対策を講じてほしい  
〔学校再編に伴う通学距離・通学時間  
宿題で使わない教科書や教材の置き勉の推進等〕



子供の環境を第一に  
子供たちへのアンケート

地域

子供達

# 学校再編について

## 保護者の願い

### 小学校選択制の導入

現状の校区・学級数・生徒数に対する不満を解消する為  
学校

### 情報先行の進め方の見直し

新聞・メディア等の情報先行の為、保護者や地域が非常に不安になっている。進め方を明確に。

### 地域及び保護者へのアンケート

対象地区及び対象地区外への地域団体への説明や意見交換・アンケートを行ってほしい。

### スクールバスの導入

スクールバスの範囲拡大・公共交通利用の促進・安全性通学時間の短縮

### 放課後の子供達の居場所

共働き率の高い富山市において、放課後学級の利用時間拡大・利用対象者の拡大は必須

### 子供たちへのアンケート

近年の目まぐるしい環境変化に対する子供の不安を探るため、隨時子供達へのアンケートを行い